

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 6 月 20 日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県五條市二見5丁目1314

氏 名 奈良県吉野川浄化センター
所長 河合 功

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0747-22-8631

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	奈良県吉野川浄化センター
事業場の所在地	奈良県五條市二見5丁目1314
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	下水道事業
② 事業の規模	計画処理人口 (38,470人)
③ 従業員数	20人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→濃縮→脱水 (自己中間処理) 後、最終処分業者に委託し、埋設処分 汚泥 (し渣、沈砂) →最終処分業者に委託し、埋設処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
 奈良県下水道課
 ↓
 奈良県流域下水道センター所長
 ↓
 奈良県流域下水道センター業務課長
 ↓
 奈良県吉野川浄化センター所長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	排出量	20,090.6 t	3 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	排出量	18,989 t	3 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	17,855.4 t	t
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	17,031 t	t
（今後実施する予定の取組）			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	全処理委託量	2,235.2 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,235.2 t	3 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
（これまでに実施した取組）			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（し渣、沈砂）
	全処理委託量	1,958 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,958 t	3 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			